

深めよう！ 税の知識と 関心を！！

# ハーティーちゃんの地元自慢コラム

IMOTO

IMAN

## COLUMN

VOL.1 酒蔵編②(50音順)



☆日本酒で乾杯！

ルポライターのハーティーちゃんが紹介するシリーズ“酒蔵編”第2回です。

### 菊正宗酒造株式会社

代表取締役社長 嘉納毅人氏  
東灘区御影本町1-7-15



昭和元年に建設された菊正宗本社社屋は、現在の三井住友銀行の前身である灘商業銀行の設計図を使ったという、重厚で天井の高い空間がとても印象深い。

お話を伺った嘉納毅人社長は11代目を継承。「人の行く裏に道あり、花の山」…を信条とされ、人と違うことをやるのが成功への道であり、新しい事をやるのがビジネスである。常に「革新的でありたい」とのこと。創業350年、甘口の酒が主流だった時代から、辛口一筋を貫き通した菊正宗！演歌歌手ジェロが今年カバーした「はじめての街でいつもの酒…やっぱり俺は菊正宗〜♪」の情感あふれるCMソングは、34年間西田佐知子が歌い続けているという。一貫主義を通じて菊正宗の「守りと攻め」の両面が見え隠れる。

嘉納社長曰く、「料理の味を引き立たせるのは菊正宗自慢の辛口！お酒は主役ではなく脇役である」と。おいしい和食と辛口の酒、至福の時である。

訪れた菊正宗酒造記念館で「生酏超辛口」を一口。透明感のあるきりりとした味。たとえるなら「粋な江戸男」。是非今宵に一献を！

酒にあう食の文化継承にも積極的に取組まれる菊正宗のこれからのチャレンジを楽しみにしたい。



菊正宗酒造記念館

【URL : <http://www.kikumasamune.co.jp/>】

### 木村酒造株式会社

代表取締役社長 木村喬二氏  
東灘区御影石町1-1-5



1758年創業の木村酒造の代表的な銘柄「龍鯉」は中国の「龍門」に由来し瀧を溯る鯉を意味している。男酒といわれるゆえんはそのネーミングの雄雄しさとキレ味にありそうである。

本社に隣接する瀧鯉蔵元倶楽部「酒匠館」は、1997年の朝の連続テレビ小説「甘辛ちゃん」のロケに使用され、当時のままの玄関をぬけると、代々の蔵元の住まいだったという静寂の似合う、どこか懐かしいたたずまいが迎えてくれる。



酒匠館

お話を伺った木村喬二社長は10代目を継承。「守るべき伝統とは重く、時に保守的でもあるが継続は最大の力である」。木村社長の「自分が美味しいと思うもの」を作るため「決して味がふれない」ように全て「自分の口」を通すという信念は、もの造りの原点である「安全かつ品質」へのこだわりに他ならない。「最後には良い物だけが残る」とも。

取材を通じ、酒蔵の歴史と伝統を守り抜く継承者の強さと意地を垣間見たように思う。

帰り際に、社長のご厚意でいただいた、木村酒造の庭にたわわに赤く実っていたざくろは、自宅のテーブルに秋を運んでくれている。

【URL : <http://www.takinokoi.co.jp/>】

(取材・文 田中広報委員)  
(取材 海崎広報委員)  
(イラスト 高永広報委員)



## TOKU<sup>2</sup> ハーティー <知っとく！・なっとく！>

☆日本酒で乾杯？…日本酒を粋に飲んでみたいと思いませんか。日本酒は、長い歴史の中でしなやかな感性とすぐれた技術で磨きあげられてきました。甘くて辛い「妙味の酒」。特定の料理を選ぶことなく、心身を癒し、ご縁をつなぎ、和(なごみ)に酔うお酒です。あらたまった礼講からにぎやかな無礼講に移るとき、私たちは乾杯します。これからの人生をますます豊かなものにするために…。日本酒で乾杯！

(「日本酒で乾杯推進会議」ホームページより引用)